

もいのにぎわい通信

2024年 3月24日 定例活動報告

日時：2024年3月24日（日）9：00～12：00

場所：小山町 観音地

天候：曇り 気温 10～15℃ 湿度 80% 風向 東南東 風速 1.8m/s

参加者：9人：子ども2人、大人7人（内土地改良区0人）

■活動

9:00 集合

9:30 作業開始

10:30 休憩

12:00 後片づけ・解散

■活動報告

23日は活動予定日として連絡していましたが当日の予想より早い大雨となり翌日へ急な延期となりました。

翌日の24日は晴れてはいましたが肌寒さが残っていました。数年前に植樹したトサミズキの黄色い花が満開になってとてもきれいでした。延期になったにもかかわらず前日参加予定で途中まで移動してくれていたという茨城から電車で来てくれた高校生や定期的に参加してくれている家族が参加してくれました。

主な作業は森の入口側の高台部分の刈払機での除草。ビニールハウス周り、散策路では小学生の姉妹とお母さんそして初参加の高校2年生の女の子でクズのつる切り作業を行いました。休憩後のひとときは子どもたちが井戸掘りごっこをしていた穴で高校生も一緒に掘って遊ぶ姿が見られました。栗林から高台に登るための道が笹や木やクズのつるでふさがれていたため鎌と剪定ばさみで取り除いていきました。来月の活動の山菜採りで登る道も確保できました。

初めて参加してくれた高校生は将来環境保全の仕事ができればとの思いで参加してくれたとのこと。若い年齢で将来を考えて行動できる姿をととても素敵なことと感心してしまいました。

余談になりますが、活動予定日の土曜日の開始時間に準備をしていたスタッフ二人と井戸の様子を見に来てくれていた安房高校で生物の先生をされている安齋先生と雨の中ビニールハウスで少しお話しする機会がありました。

安齋先生は環境保全のボランティアをやられていて近くで定期的に環境調査をしているとのこと。そして森へ来る前に寄ってきたと…。生息しているトウキョウサンショウウオとニホンアカガエルが減少してきているので卵塊を保護して卵を返してまた放流する活動を続けているとのこと。繁殖しているアライグマに卵塊を食われて激減してしまったと…。

昔から生息している生き物がこれからも生きていける環境を守るために今できることをしていくことはとても大切と感じます。生き物は人間の環境破壊に大きく影響を受けます。ある行動が気づかないところで環境破壊につながることもあると思います。常に意識して行動してけるようになりたいです。

一つ活動している森で気になったことは毎年ビオトープの池に2月頃見られたニホンアカガエルの卵塊が今年は見られなかったこと。池の水が少なかったせいかな…原因はわからないが来年は見られるように池の手入れができたらと思います。

記録：和田みさ子

.....
お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、4月27日(土)(雨天の場合4月28日(日))除草作業、苗木の枝の剪定、山菜採りを行う予定です。尚、コロナ禍の為、活動時間を午前9時～12時までとします。



集合写真



トサミズキが満開



井戸掘りごっこに熱中



枝の剪定作業





刈払機による除草作業





ちょっとだけシイタケ採れたよ。おみやげ！